

第156 回日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会ご案内と演題募集要項（第1報）

標記についてご案内申し上げます。皆様のご参加および一般演題の応募をお願いいたします。
プログラムは、8月下旬に学会ホームページに掲載いたしますので、必ず事前にご確認ください。
また、プログラム（最終版）の冊子は、参加費振込み確認後、発送を予定しております。

第2報以降は、すべて学会ホームページ上で皆様にご確認をいただく形になります。

日時：2023年9月9日（土） 13:00～17:30（予定）

場所：東京都赤十字血液センター会議室 ハイブリッド開催（予定）

例会長：津野寛和（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

テーマ：『**コロナ禍後の輸血医療の変化**』

プログラム：① シンポジウム 「コロナ禍後に輸血医療、血液事業はどう変化したか？」（仮）
② 一般演題
③ 特別講演「国際学会（ISBT）と日本輸血細胞治療学会の連携の重要性について」（仮）
④ ワークショップ 「最適な輸血チーム医療を目指した輸血業務のタスクシフト・シェアに必要なもの」（仮）

参加費：1,000 円（会員、非会員問わず）

*参加申し込み方法は、追って学会HP 上の **第2報**でお知らせいたします。

【一般演題の募集要項】

- 発表時間とテーマ：口演6分、質疑3分、テーマは自由。
- 応募方法：抄録（MSWord 文書で600字以内）に、発表者名、施設名、部署名、連絡先（Email、TEL）を記載の上、下記の事務局に電子メール添付にて送付してください。
- 募集期間：2023年7月14日（金）17:00まで
- 事務局(送付先)：第156回 日本輸血・細胞治療学会関東甲信越支部例会事務局
日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター検査部
E-mail: reikai156@outlook.jp
- 一般演題の演題応募数により、優秀演題の表彰を予定しています。

※ 演題応募にあたり、学会HPの「学術総会・支部例会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」にご留意くださいますようお願いいたします。